

写

受理番号	陳情第5号
受理年月日	令和5年8月22日

陳 情 書

## 陳情書

令和5年8月22日

二宮町町会議長 根岸 中き子様

『ワクチン接種券の送付の廃止とインフォームドコンセントの徹底に関する陳情書』

陳情者 住所 神奈川県中郡大磯町西小磯 691-10

氏名 磯山利華子



### 【陳情の趣旨と理由】

メディアは報じていませんが、コロナワクチンは接種率世界一の日本国民が、世界一のペースで死亡しています。打てば打つほど比例して死亡者が増加しています。

また、ワクチン後遺症に苦しむ方々が増えています。2023年の厚生労働省・分科会発表ではワクチン接種後にお亡くなりになられた方は2076人、後遺症に至っては36,441人、重篤者は8627人となります。

現在、新型コロナワクチン接種による「健康被害救済制度」の申請受理数が既に7,700件を超えています。さらなる増加の一途をたどっています。厚生労働省では申請の着手が追い付かず、救済を受けられずにいる方が4,700人以上もいます。

2023年4月5月のワクチン後遺症の平均年齢は24歳弱です。10代も大変に多くなっています。日本は、世界にくらべて圧倒的に多い接種回数となっています。海外の各国では、国民が危険性に気づき2~3回で接種は止めました。日本はワクチンによる被害を無視したままで、4回5回6回と追加接種を続けています。

国の方針に従うだけでなく、二宮町議会がこの問題を早急に議題に上げ話し合うべき問題と考えます。二宮町が接種券を送り続けることは今後、二宮町へのワクチン誘導となります。2年経って結果の出たコロナワクチンに対して責任を議会として取れるのでしょうか？また、接種においてのインフォームドコンセントの徹底しているのか確認と今後の接種者へのインフォームドコンセント徹底を改めてお願い致します。

二宮町民へ正しい情報を伝えて頂けますよう宜しくお願い致します。

### 陳情書内容

- ① 町長はコロナワクチン接種券を全町民に不送付にすること。
- ② 町長はコロナワクチン接種に対して医療機関に対して特に医師へのインフォームド・コンセント「説明を受け納得したうえでの同意」があつて接種したかを医療機関に確認すること。また今後は丁寧にインフォームド・コンセントを接種者に徹底し伝えること。